

87式自走高射機関砲

陸上自衛隊

フジミ模型 2018年10月新製品



企画協力
月刊アーマーモデリング

完全新金型

1/72 スケールで初の製品化。

機甲部隊に随伴し
対空近接援護を実施せよ！



大型スケールに迫る形状再現性に注目！

87式自走高射機関砲は、機甲部隊に随伴し敵対戦車ヘリコプター等に対抗しうる近接対空援護火器として陸上自衛隊で活躍中。

～作りやすく、精密な再現性を～

- 砲塔はスライド金型を用いた一体成型です。
- 部品点数は109点で最小限にまとめつつ、再現性を重視すべき部分は別体パーツとしています。
- 車体の上側面および底面には実物にある溶接痕や滑り止め部分を的確に表現しています。

～付属デカールがマニアックな内容に～

- 車両番号、所属表記や部隊マークなど基本的な表記は「2高特」「7高連」「高射学校」「武器学校」と全部隊を網羅。
- さらに高射学校の独特な二桁番号、千歳のC経路ジオラマを作りたくなる公道走行時の「追越注意」表記などを収録。
- 各駐屯地で観閲行進時に隊旗が掲げられた車両や、過去に特徴あるマーキングがされた車両を発発3/4連搭載車均等に収録。

実車解説

主砲にはエリコンKDA35mm機関砲が2門、砲塔後部には搜索レーダー/追跡レーダーが装備され、バックアップとしてレーザー測遠機、赤外線暗視装置、TVカメラも備わります。また弾種変更により対空射撃のほかに対地攻撃も可能です。車体は74式戦車に比べ容積拡大のため別車体のようなシルエットとなりました。52両が調達され、現在は高射特科部隊である第7高射特科連隊（東千歳）や第2高射特科大隊（旭川）、高射学校（千葉）や武器学校（土浦）に配備されています。毎年夏季に行われる富士総合火力演習でも実弾射撃をする姿が見られる主力装備の一つです。

～実車を的確に立体化した完全新規設計～



1/72スケールで手軽に作ってコレクションにも最適なシリーズ。

本製品から1/72シリーズは大きくクオリティ仕様が向上します！

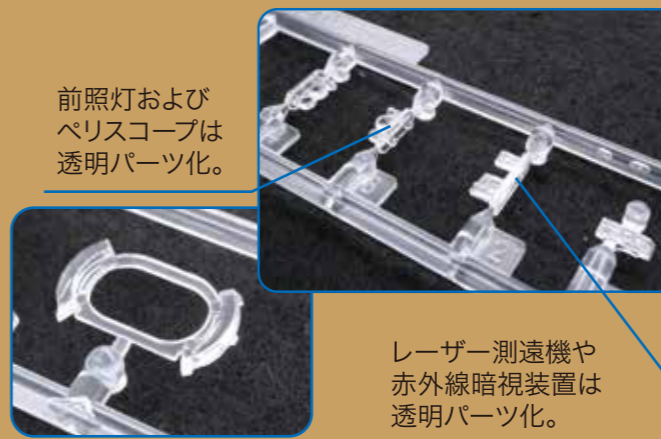
- これまで省略されがちな溶接痕や滑り止め面など1/48や1/35に劣らない細密表現設計へ、1/72新スタンダードに進化します。
- ★前照灯やペリスコープ、赤外線暗視装置などの部分はパーツを透明化します。
- ★付属するデカールは所属部隊や車両番号などの考証も行き届いた内容で実際に配備されている車両を収録。



35ミリ砲身のテーパ角、最大豊隆部分の位置などの特徴を1/72では微細ながらも盛り込みプラパーツ化。



車体底面には操縦手非常脱出口や溶接痕など省略されがちな意匠も再現。

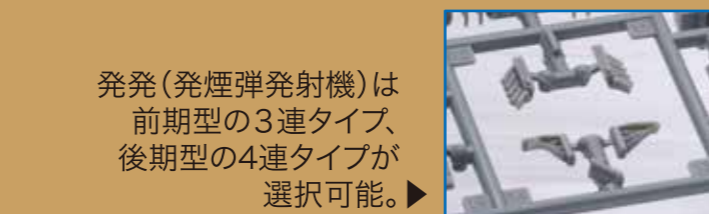


前照灯およびペリスコープは透明パーツ化。

レーザー測遠機や赤外線暗視装置は透明パーツ化。



履帯は観閲式などでみられるゴムパッド付を再現しています。



発発（発煙弾発射機）は前期型の3連タイプ、後期型の4連タイプが選択可能。



車体後部の牽引ワイヤーは塗装を考慮し別パーツとしています。

